

## 平成29年度 事業計画

日本リウマチ財団は、昭和62年の設立以来、着実な事業推進により多大な成果をあげてきた。平成23年4月1日より公益財団法人に移行し7年目を迎え、財団創立30周年の節目にあたる本年度は、確固たる事業基盤の確立に向けて、従前から実施している各種事業の一層の充実強化を図る他、関係団体と連携を密にしてリウマチ性疾患の征圧に対する社会の要請と期待に応えるように努め、より高い公益性を追求した事業を更に推し進めていくこととする。ただし、財源難が続いていることから、既存事業の一部は規模を縮小、新規事業については協賛等により財源確保が見込まれる事業を実施したい。

平成29年度の主な事業は次のとおりである。

### 1 調査・研究及びその助成事業

- (1) 中長期的な研究計画のもとにリウマチ性疾患の治療研究を行う。
- (2) リウマチ性疾患治療薬等の治験の円滑実施を検討推進する。
- (3) リウマチ性疾患の病因、診断・治療、予防・疫学等に関する広範な調査研究の助成を行う。
  - ア 平成29年度リウマチ性疾患調査・研究助成（公募、推薦）  
5課題 各100万円助成  
アの5課題のうち、1題を平成29年度三浦記念リウマチ学術研究賞に、さらにもう1題を平成29年度塩川美奈子・膠原病研究奨励賞へそれぞれ選考し助成を行う。
  - イ その他
- (4) 平成29年度ノバルティス・リウマチ医学賞（300万円）（公募、推薦）  
リウマチ性疾患の本態解明に関する生命科学、情報科学、遺伝・環境科学、薬物科学等の分野で、顕著な功績を挙げた者を顕彰し賞金を授与する。
- (5) 平成29年度（第20回）日本リウマチ財団柏崎リウマチ教育賞（100万円）  
リウマチ性疾患に関する医学教育、患者教育、社会教育等の功績を顕彰し賞金を授与する。
- (6) 平成29年度日本リウマチ財団リウマチ福祉賞（記念楯、20万円）  
リウマチ性疾患に悩む患者に対して永年にわたる医学的又は社会的救済活動を通じて、著しく貢献のあった個人または団体を顕彰し賞金を授与する。

## 2 普及啓発事業

- (1) 日本リウマチ財団ニュースを年6回発行する。リウマチ財団登録医等の他、リウマチ医療を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、本年度よりリウマチケア看護師とリウマチ財団登録薬剤師に電子配信を開始する。
- (2) 平成29年度リウマチ月間（6月）啓発ポスターを作成し、医療機関、保健所、市町村保健センター等に配布する。
- (3) 「平成29年度リウマチ月間リウマチ講演会」を開催する。  
月間事業に併せ、医学賞等の授賞式や創立30周年記念式典を挙げる。

開催月日	開催場所	
平成29年6月11日（日）	東京都	丸ビルホール

患者・患者家族等、一般市民の参加が減少傾向にあることから、徐々に医師等医療従事者に配慮した講演とし、リウマチ財団登録医、リウマチケア看護師、リウマチ財団登録薬剤師の教育研修単位が取得できるよう配慮する。

- (4) 新しいリウマチ医療の導入、リハビリテーション医療のあり方等にかかる医療保険制度の問題点について検討し改善策を当局に提案、実現に努める他、診療報酬等に関する情報をリウマチ財団登録医等へ機敏に提供する。
- (5) リウマチ財団登録医の診療レベルの向上、リウマチに関する知識の普及啓発事業の展開を図るため、リウマチ医の会（リウマチ財団登録医の会、実地医の会）の活動を推進する。
- (6) ホームページ・リウマチ情報センターを運営する。  
リウマチ財団登録医等が必要とする情報を適宜、迅速に収集・提供し、信頼性の高いホームページを目指した活動の強化を継続する。又、内容の認識しやすさや見やすさ等にも配慮した、医療関係者や患者さん・一般向け等の情報の充実強化を図る他、ホームページに掲載したQ&Aをまとめた冊子「リウマチ患者さんのQ&A（仮称）」を作成する。
- (7) 財政好転時に備え、「リウマチ診療の記録（Color Atlas）」制作の準備作業に着手する。

## 3 教育研修事業

- (1) リウマチ教育研修会

リウマチ財団登録医等の教育の一層の推進に寄与するため、リウマチ教育研修会を開催する。リウマチケア看護師やリウマチ財団登録薬剤師をはじめとするコメディカルスタッフにも引き続き受講対象の門戸を開き、専門性のある実践的な教育研修を実施する。

地区	開催月日	開催場所
北海道・東北地区	平成29年 9月24日（日）	マリオス
関東・甲信越地区	平成29年11月26日（日）	
東海・北陸地区	平成29年10月29日（日）	アクトシティ浜松
近畿地区	平成29年10月15日（日）	和歌山県民文化会館
中国・四国地区	平成29年10月22日（日）	TK ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前
九州・沖縄地区	平成29年 8月20日（日）	TKPガーデンシティ鹿児島 中央

- (2) リウマチのトータルケア推進のため、リウマチの治療とケア研修会及びR A トータルマネジメントフォーラムを開催する。

ア リウマチの治療とケア研修会

地区	開催月日	開催場所
北海道・東北地区	平成29年 9月 3日（日）	札幌国際ビル貸会議室
関東・甲信越地区	平成29年 9月17日（日）	ラフレさいたま
東海・北陸地区	平成29年11月23日（木/祝）	パレブラン高志会館
近畿地区	平成29年11月12日（日）	京都リサーチパーク
中国・四国地区		
九州・沖縄地区	平成29年10月 8日（日）	長崎ブリックホール

イ 第19回R A トータルマネジメントフォーラム

開催月日	開催場所	
平成30年2月3日（土）	東京都	品川インターシティホール

- (3) 既存のインターネットを利用したeラーニングによる教育研修の充実に努める。
- (4) 財団主催以外の教育研修会について教育研修単位の認定を行う。
- (5) 海外派遣研修医制度に基づく事業として、海外研修のため派遣する医師若干名を目途に助成する。(100万円)
- (6) 日欧リウマチ外科交換派遣医制度に基づく事業として、本年度は欧州へ若手医師2名を派遣する。
- (7) 国際学会におけるリウマチ性疾患調査・研究発表に対し助成する。  
国際学会においてリウマチ性疾患調査・研究を発表する若手の医師、看護師、

薬剤師である研究者に対し、登録費用及び旅費、宿泊費用を対象として1学会について原則3名以内（国内で開催する国際学会は5名以内）に助成する。

学会名	助成対象金額	開催月日
ヨーロッパリウマチ学会（EULAR）	30万円	平成29年 6月14日～17日
アメリカリウマチ学会（ACR）	25万円	平成29年11月 3日～ 8日
アジア太平洋リウマチ学会（APLAR）	15万円	平成29年10月16日～20日
国内で開催する国際学会	5万円	

※(6)、(7)は、原則としてリウマチ財団登録医やリウマチケア看護師、リウマチ財団登録薬剤師であること。

#### 4 リウマチ財団登録医の養成事業

- (1) リウマチ財団登録医は、新規の募集を実施する他、更新（平成24年）の資格審査の上登録を行う。
- (2) リウマチ財団登録医制度のもと、リウマチ財団登録医のネットワーク、リウマチ医の会（リウマチ財団登録医の会、実地医の会）の充実に努めるとともに、病診連携等の強化等により、リウマチ医療の施設間格差、地域格差の解消を目指す。

#### 5 リウマチ専門職制度の推進

- (1) リウマチケア看護師は、第8次の募集を実施する他、更新（平成24年）の資格審査の上登録を行う。
- (2) リウマチ財団登録薬剤師は、第4次の募集を実施し資格審査の上登録を行う。

#### 6 災害時リウマチ患者支援事業の推進

東日本大震災や熊本地震における災害時リウマチ患者支援事業の検証結果等々を踏まえ、より実効性の高い支援事業から順次進めていく。

#### 7 国際交流及び関係団体への助成事業

- (1) 国際交流を深めるため役員等の海外派遣を行う。
- (2) リウマチ学に関する学術会議等の開催に対し助成を行う。
- (3) リウマチ患者団体の情報提供、医療相談等の活動に対し助成を行う。

#### 8 その他事業

- (1) 平成23年8月、厚生労働省が公表した「今後のリウマチ対策の方向性等」の确实

な実施を厚生労働省に働きかける。

- (2) 各大学、国公立病院にリウマチ診療科の設置を働きかける。
- (3) 各都道府県リウマチ医の会（リウマチ財団登録医の会、実地医の会）会及びケア研究会の設置に努める。
- (4) 賛助会員との連携を深め、その増加に努める。
- (5) リウマチ性疾患に関する調査・研究等の助成事業に充当するため募金活動を推進する。
- (6) リウマチ関係団体が行う大会、講演会等リウマチ対策の推進に寄与すると認められる事業については後援、協賛を積極的に行う。
- (7) リウマチ専門職委員会を窓口として、欧州リウマチ学会リウマチ専門ナース制度に関する情報交換を積極的に行い、その浸透に助力する。
- (8) 時代のニーズを踏まえた事業が実際の医療現場と連動して展開できるよう、賛助会員の相互理解や交流を深める場として、法人賛助会員打合会を開催する。
- (9) リウマチ性疾患に対する普及啓発を推進するため、創立30周年の行事を実施し、リウマチ性疾患治療の更なる進展を図る。